

# 欧米における食品包装・容器の最新法規制動向

食品包装・容器の法規制において、欧米は永年の経験よりそれぞれが独自の法体系を作り上げ、都度改正を進めている。基本的なコンセプトは類似点が多いが、具体的な規制の方式、申請方法と承認制度、安全性評価方法等に関し幾多の相違点があるのが現状である。米国では従来の化合物登録に代わり個別製品登録制度が完全に主流となり、EUではポジティブリストが法律となりプラスチック施行規則による溶出試験等の改正が進行中である。

これらの欧米の法規制の最新動向及び調査・照会方法、化学物質の関連情報を紹介し、欧米との整合化を検討中の日本及び進展の目ざましい中国との相違点に関しても触れたい。

**日時** 2013年6月28日(金) 12:30~16:30

**会場** 連合会館 4階 404 (東京都千代田区神田駿河台3-2-11)

**受講料** 42,000円(税込) STbook会員価格 39,900円(税込) \*資料代含む

## 講師

西 秀樹 氏 日本包装工業会 顧問(前会長)

日本包装技術協会 包装管理一講座 講師  
ポリオレフィン衛生協議会 加工部 前主査(元樹脂協会 工業化学)

# このセミナーは 終了しました

## 講演詳細

- 初めに:包装を取り巻く環境
- 米国の法規制の最新動向
  - 米国の法律とFDA(食品医薬品局)
  - 連邦規則集の概要と各材料の規制
  - プラスチックの規制の状況:従来からの化合物登録制度
  - プラスチックの新制度の状況:食品接触物質の上市前届出制度(個別製品登録)
  - 新規化合物の申請方法:業界のためのガイダンス
  - FDAの調査と照会の方法
  - 食品安全近代化法の概要
- 欧州(EU)の法規制の最新動向
  - 法規制統合の仕組みと組織
  - 各材料の規制状況:プラスチック紙、統一ポジティブリスト、機能性ポリマー
  - プラスチック施行規則の動向:規格と試験条件の改正、ガイダンス
  - 新規化合物の申請方法
  - 各国の法規制と欧州安全条項
  - EUの調査と照会の方法
  - ROHSとREACHの現状と包装への影響
- 日欧米中の現状比較
  - 日本の課題と改正に向けた最新動向:溶出試験方法、業界自主基準方式
  - 中国の最新動向
- まとめ 一企業としての品質保証の進め方と留意点一

セミナー申込用紙 セミナー名: ST130628(欧米食品包装規制)

DM

会社名 団体名				〒
部署・役職				
ふりがな				
氏名	住所			
TEL	FAX			
E-mail	※申込みに関する連絡に使用するため、可能な限りに記入ください。			
STbook会員(無料)に <input type="checkbox"/> 入会する <input type="checkbox"/> 登録済み		※E-mailアドレスが必須です。 ※左に✓印をつけてご入会いただくと、この申込からSTbook会員価格で申込できます。		
今後、弊社からのご案内が不要な方は以下に✓印をつけてください。 <input type="checkbox"/> 郵送DM不要 <input type="checkbox"/> E-mail不要	通信欄		支払方法 <input type="checkbox"/> 振込 <input type="checkbox"/> 当日現金 ※銀行振込の場合は振込予定日を記載ください 月 日	

※左記ご記入の上、**FAX 03-3261-0238**までお申込みください。

※E-mailアドレスまたはFAX番号を必ずご記入下さい。

### ■お申込み方法

必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。または当社ホームページからお申し込みください。

### ■受付完了のご連絡

受付完了後、3営業日以内に請求書、受講券、会場案内図を郵送いたします。

### ■お支払

銀行振込にてお願いいたします。受講料のご入金は、開催日までお願いいたします。やむなく開催日以降にご入金の場合は、当日現金でお支払またはお申込みの際に振込予定日をご記入ください。銀行振込の場合、領収証の発行はいたしません。

### ■個人情報の取り扱い

ご記入の個人情報は、商品の発送、事務連絡、ご案内等に使用いたします。